

「第50回脳活研究会」

親の介護マネジメントを知っておこう！

～ドツボにはまる前にやっておくとよいこと～



認知症の有無に関わらず、同世代が集まると「親の介護」についての話題が気づけば多くなっています。何をどこに聞けば良いのか、手続きはどうすれば良いのかなど、情報がまとまっていなかったり、窓口がばらばらだったり、仕事じゃないけど大きな気がかりになっているようです。今回は親の介護に向けた安心確保の策について、実体験を共有します。必要な方にお知らせ下さい。

●「おや？」と思ったら地域包括支援センターに行ってみよう！

普通に「老化」が目立ってきたら、相談窓口に行ってみると良い。介護認定や多くの手続きが申請できます。ただし、イレギュラーに関してはできるのは「傾聴」くらい。問題がある場合はここでは対策は見込めませんでした。その場合は、次の策を考えてください。

●公証役場でリスクマネジメント

家族信託や任意後見契約などの手続きは、「弁護士」「司法書士」がするものと思いませんか？ 弁護士さんは「提案」、司法書士さんは「事務処理」担当。実際の契約には「公証人」が必要です。会社の書類に慣れている世代はひな型を作成して直接行って、相談してみよう。

●介護マネジメントの仕組みを作る

介護の目的を整理し、組織を構築するの必要はありますが、自身が作業員になってしまうとドツボにはまります。医療、福祉、金融のそれぞれのチームを適切にマネジメントすると仕事と介護の両立は可能です。

★まだまだ「超高齢化社会」の対策は発展途上です。だからこそ、家族信託+任意後見の合わせ技や、在宅医療の情報など自ら情報収集しないと、後からの「しまった！」は多いはず。きっとこのテーマで困っている話を共有・相談する機会があると便利かなと思います。

【開催日時】2026年7月15日（水）19：00～20：30

【主催】
脳活研究会

【定員】10名程度 【費用】無料
【お申込み】

Mail k-tomohiro@kaimanage.co.jp
氏名・連絡先・アドレス等お知らせください。

【協賛】

【お問合わせ】

株式会社キャリアール

担当 小林 090-4103-0743

メディカルアシスト産業医 | 労働衛生コンサルタント事務所

リラグゼーションサロン花 株式会社カイマネージ

リモート
開催!!